

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
プログラム名	心理学プログラム

<p><b>学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)</b></p> <p>KUGS(金沢大学グローバル・スタンダード)をふまえ、人文学類では次に挙げるすぐれた能力と資質を以て新たな情報や価値を創造し社会に貢献できる学生に学士(文学)の学位を授与する。</p> <p>1.豊かな教養と課題発見能力 人間性と社会性に富む豊かな教養を有し、常に知的好奇心を持ち続け、人間や社会、環境をめぐる諸課題を自ら発見することができる。(≒KUGS1.5に対応)</p> <p>2.社会的応用性を備えた専門性 各プログラムにおける専門的な学問内容と、文献読解にとどまらない固有の方法を、系統立てて理解・習得し説明できるとともに、それを活用して現代社会における多様な課題の具体的な解決に忍耐強く意欲的に取り組んでいくことができる。(≒KUGS1.2.5に対応)</p> <p>3.適切かつ主体的な情報収集と的確な自己表現の能力 多様な情報、文献、資料、史料の中から必要なものを適切かつ主体的に収集、分析、統合し、自らの見解や価値観を形成するとともに、明晰な論理構成能力を高い文章表現力で自己を説得的かつ的確に表現することができる。(≒KUGS3に対応)</p> <p>4.多面的視野による他者理解と柔軟なコミュニケーション能力 多面的視野を持って、異なる文化や伝統も含んだ他者の多様な価値観や見解に対する高い関心と深い理解を有しており、日本語そして外国語を用いて異論を有する他者とも柔軟かつ適切に意思の疎通を図ることができる。(≒KUGS4に対応)</p>	<p><b>プログラムのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)</b></p> <p>心理学プログラムでは、人間の行動・認知・思考・意思・歴史・文化・言語について考究する人文学類の成果を学び、専門とする心理学プログラムの専門知識を有し、さらには人文学類の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような心理学プログラムの学習成果を上げた者とする。</p>
--	---

<p><b>学類・プログラムのOP/カリキュラム編成方針</b></p> <p><b>【学類のOP】</b> DPにかける能力と資質の育成を実現するために、以下のような教育課程の編成と実施の方針を策定する。 1. 学士課程4年間を通じて、KUGSに対応したGS科目や導入科目を体系的に履修して、学士課程教育の基礎となる幅広い豊かな教養を身につける。またGS言語科目(英語)のみならず、必ず初習言語をひとつ以上選択することで、外国語コミュニケーション能力、異文化への関心と理解力を養う。(≒DP1) 2. 1年次より「人間社会学域GS科目」及び「人文学基礎科目」を履修し、前者では大学・学問論、ジェンダー論、文化概説、文学概論、異文化理解、法政基礎論、地域創造学、金融リテラシー等、人文学、社会科学の基本的問題や方法論を、後者では人文学類の基本研究内容、研究方法、そして基礎知識をそれぞれ幅広く学習し、人間社会学域および人文学類での専門教育における基礎的教養を身につける。(≒DP1.2) 3. 英語については、1年次でのGS言語科目の履修を踏まえさらに2年次で学域GS言語科目、また、各プログラムの専門科目における英語演習を履修することで、継続的に英語運用能力の向上を図る。(≒DP4) 4. 専門科目は、講義科目と演習・実習・実験科目に大別されるが、いずれのプログラムの講義・演習等でも、個人あるいはグループ単位での口頭発表、報告書(レポート)作成、討議、調査など学生の能動的・主体的な授業参加を求めるとともに双方向的な授業を進めることで、専門的知識の獲得に加えて、自己表現、他者理解、コミュニケーション等の能力を養っている。(≒DP4.4) 5. 4年次には全プログラムにおいて卒業論文演習を通じて卒業論文を作成する。卒業論文は、共通教育と専門教育の集大成となるもので、1年次から4年次まで習得してきた基礎的教養と専門教育における学修成果を総合しながら、学生自らが課題やテーマを設定し、データ・資料・史料等を収集、分析、読解し、自らの見解を明晰かつ論理的に表現していく能力の養成ができたかどうかを最終的に確認するものである。あわせて口頭試問では、自己の所説の説明に加えて批評・批判・異論に耳を傾けこれに柔軟に対応できる能力も評価される。 <b>【プログラムのOP】</b> 1年次には、心理学分野全般を概観する概論的な科目を学ぶ。2年次には、心理学研究の基本的考え方や基礎技術を習得するための実験を中心とした科目や心理統計法に関する講義科目を学ぶ。3年次には、さらに高度な実験研究法や調査法を修得するための科目を学び、さらに、自分の関心に基づいて実験や調査を行いレポートにまとめる科目を履修する。4年次には、自分の研究を「卒業論文」にまとめる。これらに加え、2～4年次には、心理学領域の基礎知識や最新トピックなどを各講義および演習を通して学ぶ。</p>	<p><b>プログラムの学習成果</b>(◎=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)</p> <p>人や動物の心理的現象について、科学的理解をすることができ、 実験や調査を通して、人や動物の行動を客観的・計量的に理解することができ、 数値的な測定法を学ぶことで、人間や動物の行動を客観的に理解する基礎を身につける。 自ら課題を設定し先行研究を整理した上でデータを集集し、それらを考察して総合することができる。 外国語で書かれた海外の先行研究を講読し、理解を深める。 実験や調査によるデータ収集と分析、考察した結果を、客観的に記述し口頭や文書で発表報告することができる。 心理学の基本概念を理解し、基礎的知識を習得するとともに、大学院等での専門的研究、社会における専門的職業への知的基盤を培う。 学問的分野の知の集積に触れ、事象に対する多様な考え方を知らるとともに、人文学に関する複眼的な見方を涵養する。</p>
--	--

プログラムのカリキュラム									
番 号	科 目 名	履 修 の 学 習 目 的	学 年	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4		
42637	心理学概論A	心理学の考え方や研究方法を学び、感覚・知覚・学習・記憶・思考・感情などの領域における基礎知識を修得する。	2	*	*			◎	○
42638	心理学概論B	発達・社会・パーソナリティ・臨床などの領域における心理学の研究の基礎知識が修得できるようにする。	2			*	*	◎	○
42639	臨床心理学概論A	臨床心理学の成り立ちを理解し、代表的な理論と技法についての基本的な知識を修得する。	2					○	◎
42640	臨床心理学概論B	臨床心理学の知識に基づき、心理的問題を理解し、基本的な心理的支援の方法を習得する。	2					○	◎
42641	心理学統計法1A	心理学に関連する基本的な統計的手法、特に、代表値、散布度、正規分布、相関と回帰、母集団と標本、統計的仮説検定、の基礎原理について理解し、使用できるようになる。	2	*	*			◎	○
42642	心理学統計法1B	心理学に関連する基本的な統計的手法、特に、代表値、散布度、正規分布、相関と回帰、母集団と標本、統計的仮説検定、の基礎原理について理解し、使用できるようになる。	2	*	*			◎	○
42643	心理学統計法2A	心理学に関連する基本的な統計的手法、特に、分散分析と要因計画、および各種ノンパラメトリック検定の基礎原理について理解し、使用できるようになる。	2			*	*	◎	○
42644	心理学統計法2B	心理学に関連する基本的な統計的手法、特に、分散分析と要因計画、および各種ノンパラメトリック検定の基礎原理について理解し、使用できるようになる。	2			*	*	◎	○
42645	心理学実験1A	心理学の基礎的実験方法に習熟するとともに、基本的な事実と理論を学習することをめざす。	2	*	*			◎	
42646	心理学実験1B	心理学の基礎的実験方法に習熟するとともに、基本的な事実と理論を学習することをめざす。	2	*	*			◎	
42647	心理学実験2A	心理学の基礎的実験方法に習熟するとともに、基本的な事実と理論を学習することをめざす。	2			*	*	◎	
42648	心理学実験2B	心理学の基礎的実験方法に習熟するとともに、基本的な事実と理論を学習することをめざす。	2			*	*	◎	
42649	心理学研究法1A	心理過程の仮説検証に必要な研究方法の基礎を学ぶとともに、特にパソコンのハードウェアとソフトウェアの基礎知識を学ぶ。	3	*	*			◎	○
42650	心理学研究法1B	心理学研究において必要なソフトウェアの操作ならびにプログラミング言語の初歩を学ぶ。	3	*	*			◎	○
42651	心理学研究法2A	調査法の基本的な作成、操作方法や、データ解析方法および統計解析ソフトウェアの使い方を習得する。	3	*	*			◎	○
42652	心理学研究法2B	調査法の基本的な作成、操作方法や、データ解析方法および統計解析ソフトウェアの使い方を習得する。	3	*	*			◎	○
41055	心理学実験・調査演習A	自らの興味にもとづき各自に研究課題を定め、実験または調査の計画を立て、自らデータを収集し、分析し、それらを考察して総合することをめざす。	3			*		◎	◎
41056	心理学実験・調査演習B	自らの興味にもとづき各自に研究課題を定め、実験または調査の計画を立て、自らデータを収集し、分析し、それらを考察して総合することをめざす。	3				*	◎	◎
41057	心理学実験・調査演習C	自らの興味にもとづき各自に研究課題を定め、実験または調査の計画を立て、自らデータを収集し、分析し、それらを考察して総合することをめざす。	3	*				◎	◎
42615	社会・集団・家族心理学A	社会心理学・集団心理学の代表的な理論や実証研究を理解できるようになる。	2-4					○	◎

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
プログラム名	心理学プログラム

<p><b>学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)</b></p> <p>KUGS(金沢大学グローバルスタンダード)をふまえ、人文学類では次に挙げるすぐれた能力と資質を以て新たな情報や価値を創造し社会に貢献できる学生に学士(文学)の学位を授与する。</p> <p>1. 豊かな教養と課題発見能力 人間性と社会性に富む豊かな教養を有し、常に知的好奇心を持ち続け、人間や社会、環境をめぐる諸課題を自ら発見することができる。(≒KUGS1.5に対応)</p> <p>2. 社会的応用性を備えた専門性 各プログラムにおける専門的な学問内容と、文献読解にとどまらない実証的な方法を、系統立てて理解・習得し説明できるとともに、それを活用して現代社会における多様な課題の具体的な解決に忍耐強く意欲的に取り組んでいくことができる。(≒KUGS1.2.5に対応)</p> <p>3. 適切かつ主体的な情報収集と的確な自己表現の能力 多様な情報、文脈、資料、史料の中から必要なものを適切かつ主体的に収集、分析、統合し、自らの見解や価値観を形成するとともに、明晰な論理構成能力を高い文章表現力で自己を説得的かつ的確に表現することができる。(≒KUGS3に対応)</p> <p>4. 多面的視野による他者理解と柔軟なコミュニケーション能力 多面的視野を持って、異なる文化や伝統も含んだ他者の多様な価値観や見解に対する高い関心と深い理解を有しており、日本語そして外国語を用いて異論を有する他者とも柔軟かつ適切に意思の疎通を図ることができる。(≒KUGS4に対応)</p>	<p><b>プログラムのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)</b></p> <p>心理学プログラムでは、人間の行動・認知・思考・思想・歴史・文化・言語について考究する人文学類の成果を学び、専門とする心理学プログラムの専門知識を有し、さらには人文学類の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような心理学プログラムの学習成果を上げた者とする。</p>
--	---

<p><b>学類・プログラムのOP/カリキュラム編成方針</b></p> <p><b>【学類のOP】</b> DPにかける能力と資質の育成を実現するために、以下のような教育課程の編成と実施の方針を策定する。 1. 学生課程4年間を通して、KUGSに対応したGS科目や導入科目を体系的に履修して、学士課程教育の基盤となる幅広い豊かな教養を身につける。またGS言語科目(英語)のみならず、必ず初習言語をひとつ以上選択することで、外国語コミュニケーション能力、異文化への関心と理解力を養う。(≒DP1) 2. 1年次より「人間社会学域GS科目」及び「人文学基礎科目」を履修し、前者では大学・学際論、ジェンダー論、文化概説、文学概説、異文化理解、法政基礎論、地域創生論、金融リテラシー等、人文学科、社会科学の基本的問題や方法論を、後者では人文学類の基本研究内容、研究方法、そして基礎知識をそれぞれ幅広く学び、人間社会学域及び人文学類での専門教育における基礎的教養を身につける。(≒DP1.2) 3. 英語については、1年次でのGS言語科目の履修を踏まえさらに2年次で学域GS言語科目、また、各プログラムの専門科目における英語演習を履修することで、継続的に英語運用能力の向上を図る。(≒DP4) 4. 専門科目は、講義系科目と演習・実習系科目に大別されるが、いずれのプログラムの講義・演習等でも、個人あるいはグループ単位での口頭発表、報告書(レポート)作成、討議、調査など学生の能動的・主体的な授業参加を求めるとともに双方向的な授業を進めることで、専門知識の獲得に加えて、自己表現、他者理解、コミュニケーション等の能力を養っている。(≒DP4) 5. 4年次には全プログラムにおいて卒業論文演習を通して卒業論文を作成する。卒業論文は、共通教育と専門教育の集大成となるもので、1年次から4年次まで習得してきた基礎的教養と専門教育における学習成果を総合しながら、学生自らが課題やテーマを設定し、データ・資料・史料等を収集、分析、読解し、自らの見解を明晰かつ論理的に表現していく能力の養成ができたかどうかを最終的に確認するものである。あわせて口頭試問では、自己の所説の説明に加えて批評・批判・異論に耳を傾けこれに柔軟に対応できる能力も評価される。 <b>【プログラムOP】</b> 1年次には、心理学分野全般を概観する概論的な科目を学ぶ。2年次には、心理学研究の基本的考え方や基礎技術を習得するための実験を中心とした科目や心理統計法に関する講義科目を学ぶ。3年次には、さらに高度な実験研究法や調査法を修得するための科目を学び、さらに、自分の関心に基づいて実験や調査を行いレポートにまとめる科目を履修する。4年次には、自分の研究を「卒業論文」にまとめる。これらに加え、2～4年次には、心理学諸領域の基礎知識や最新トピックなどを各講義および演習を通して学ぶ。</p>	<p><b>プログラムの学習成果</b>(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)</p> <p>人や動物の心理的現象について、科学的理解を深めることができる。 実験や調査を通して、人や動物の行動を客観的・計量的に理解することができる。 数量的な測定法を学ぶことで、人間や動物の行動を客観的に理解する基礎を身につける。 自ら課題を設定し先行研究を整理した上でデータを収集し、それらを考察して総合することができる。 外国語で書かれた海外の先行研究を講読し、理解を深める。 実験や調査によるデータ収集と分析、考察した結果を、客観的に記述し口頭や文書で発表報告することができる。 心理学の基本概念を理解し、基礎的知識を習得するとともに、大学院等での専門的研究、社会における専門的職業への知的基盤を培う。 学問分野の知の集積に触れ、事象に対する多様な考え方を知るとともに、人文学に關わる複眼的な見方を涵養する。</p>
---	--

プログラムのカリキュラム									
科目番号	科目名	履修の学 目学生	学 年	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4		
42616	社会・集団・家族心理学B	現代に生きる家族や親密な関係性を理解するための主要な理論や適切な支援方法を学び、実際の事例を通して見立てや介入計画を作成することをめざす。	2-4						○
42617	応用心理学特殊講義A	応用心理学の重要な分野に関する研究の動向が理解できるようにする。	2-4						○
42618	応用心理学特殊講義B	応用心理学の重要な分野に関する研究の動向が理解できるようにする。	2-4						○
41062	心理学特殊講義A	心理学の重要な分野に関する研究の動向が理解できるようにする。	2-4						○
41063	心理学特殊講義B	心理学の重要な分野に関する研究の動向が理解できるようにする。	2-4						○
42619	神経・生理心理学A	人の心の働きや行動の諸現象の基盤となる脳神経系の働きに関する基礎的知識を習得する。	2-4						○
42620	神経・生理心理学B	神経心理学の重要な分野に関する研究の動向が理解できるようにする。	2-4						○
42627	発達心理学	発達心理学に関する理論や実証的な研究が理解できるようにする。	2-4			*			○
42655	心理的アセスメントA	①心理的アセスメントの目的及び倫理について学ぶ。 ②心理的アセスメントの観点及び展開について学ぶ。 ③心理的アセスメントの方法(観察、面接及び心理検査)を学ぶ。 ④適切な記録及び報告について学ぶ。	2-4			*			○
42656	心理的アセスメントB	①心理的アセスメントの目的及び倫理について学ぶ。 ②心理的アセスメントの観点及び展開について学ぶ。 ③心理的アセスメントの方法(観察、面接及び心理検査)を学ぶ。 ④適切な記録及び報告について学ぶ。	2-4				*		○
42657	障害者・障害児心理学A	身体障害、知的障害、精神障害の定義、原因、心理・行動特性、および基本的な支援方法、特別支援教育と合理的配慮の概要について理解し、説明することができよう。	2-4			*	*		○
42658	障害者・障害児心理学B	身体障害、知的障害、精神障害の定義、原因、心理・行動特性、および基本的な支援方法、特別支援教育と合理的配慮の概要について理解し、説明することができよう。	2-4			*	*		○
42630	心理学的支援法	各理論が依って立つ人間観の違いを理解するとともに、それに伴う技法の意義を理解し、支援の実態において自らがどのように実践できるかを考察できるようにする。	3-4						○
42631	健康・医療心理学A	健康心理学に関する理論や実証的な研究が理解できるようにする。	2-4						○
42632	健康・医療心理学B	医療や保健活動の現場における心理社会的な課題と支援についての知識を深める。	2-4						○
42633	福祉心理学	発達心理学に関する理論や実証的な研究が理解できるようにする。	2-4						○
42634	教育・学校心理学	学校に関わる事柄において、子どもたちに心理的苦痛を及ぼすものがあるかのようなものであるかを理解し、教職員としてどのような支援が行えるのかを考察することができよう。	3-4						○
42659	司法・犯罪心理学A	司法・犯罪分野に関する法律、制度、犯罪や非行の原因と支援、家事事件、心理学的アセスメント等についての基本的な知識を修得する。	2-4						○
42660	司法・犯罪心理学B	司法・犯罪分野に関する法律、制度、犯罪や非行の原因と支援、家事事件、心理学的アセスメント等についての基本的な知識を修得する。	2-4						○
42661	産業・組織心理学A	「働く」ということについて学び、人々が仕事に取り組み際に直面するさまざまな問題への理解を深め、「働く」とはどのようなことを考える知識と視点を身につける。	2-4						○
42662	産業・組織心理学B	「働く」ということについて学び、人々が仕事に取り組み際に直面するさまざまな問題への理解を深め、「働く」とはどのようなことを考える知識と視点を身につける。	2-4						○
41083	学習心理学演習A	学習心理学の概論的な文脈の理解を通じて、基本的現象の理解と英語論文を講読する能力を身につける。	2-4						○

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
プログラム名	心理学プログラム

<p><b>学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)</b></p> <p>KUGS(金沢大学グローバル・スタンダード)をふまえ、人文学類では次に挙げるすぐれた能力と資質を以て新たな情報や価値を創造し社会に貢献できる学生に学士(文学)の学位を授与する。</p> <p>1.豊かな教養と課題発見能力 人間性と社会性に富む豊かな教養を有し、常に知的好奇心を持ち続け、人間や社会、環境をめぐる諸課題を自ら発見することができる。(≒KUGS1.5に対応)</p> <p>2.社会的応用性を備えた専門性 各プログラムにおける専門的な学問内容と、文献読解にとどまらない固有の方法を、系統立てて理解・習得し説明できるとともに、それを活用して現代社会における多様な課題の具体的な解決に忍耐強く意欲的に取り組んでいくことができる。(≒KUGS1.2.5に対応)</p> <p>3.適切かつ主体的な情報収集と的確な自己表現の能力 多様な情報、文脈、資料、史料の中から必要なものを適切かつ主体的に収集、分析、統合し、自らの見解や価値観を形成するとともに、明晰な論理構成能力を高い文章表現力で自己を説得的かつ的確に表現することができる。(≒KUGS3に対応)</p> <p>4.多面的視野を持つ他者理解と柔軟なコミュニケーション能力 多面的視野を持って、異なる文化や伝統も含んだ他者の多様な価値観や見解に対する高い関心と深い理解を有しており、日本語そして外国語を用いて異論を有する他者とも柔軟かつ適切に意思の疎通を図ることができる。(≒KUGS4に対応)</p>	<p><b>プログラムのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)</b></p> <p>心理学プログラムでは、人間の行動・認知・思考・思想・歴史・文化・言語について考究する人文心理学の成果を学び、専門とする心理学プログラムの専門知識を有し、さらには人文心理学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような心理学プログラムの学習成果を上げた者とする。</p>
--	---

<p><b>学類・プログラムのOP/カリキュラム編成方針</b></p> <p>【学類のOP】 DPにかける能力と資質の育成を実現するために、以下のような教育課程の編成と実施の方針を策定する。 1. 学士課程4年間を通じて、KUGSに対応したGS科目や導入科目を体系的に履修し、学士課程教育の基礎となる幅広い豊かな教養を身につける。またGS言語科目(英語)のみならず、必ず初級言語をひとつ以上選択することで、外国語コミュニケーション能力、異文化への関心と理解力を養う。(≒DP1) 2. 1年次より人間社会学域GS科目「J」人文基礎科目を履修し、前者では大学・学問論、ジェンダー論、文化概説、文学概論、異文化理解、法政基礎論、地域創生学、金融リテラシー等、人文科学、社会科学の基本的問題や方法論を、後者では人文心理学の基礎知識をそれぞれ幅広く学習し、人間社会学域および人文学類での専門教育における基礎的教養を身につける。(≒DP1.2) 3. 英語については、1年次でのGS言語科目の履修を踏まえさらに2年次で学域GS言語科目、また、各プログラムの専門科目における英語演習を履修することで、継続的に英語運用能力の向上を図る。(≒DP4) 4. 専門科目は、講義科目と演習・実習・実験科目に大別されるが、いずれのプログラムの講義・演習等でも、個人あるいはグループ単位での口頭発表、報告書(レポート)作成、討論、調査など学生の能動的・主体的な授業参加を求めるとともに双方向的な授業を進めることで、専門知識の獲得に加えて、自己表現、他者理解、コミュニケーション等の能力を養っている。(≒DP4.4) 5. 4年次には全プログラムにおいて卒業論文演習を通して卒業論文を作成する。卒業論文は、共通教育と専門教育の集大成となるもので、1年次から4年次まで習得してきた基礎的教養と専門教育における学習成果を総合しながら、学生自らが課題やテーマを設定し、データ・資料・史料等を収集、分析、読解し、自らの見解を明確かつ論理的に表現していく能力の養成ができたかどうかを最終的に確認するものである。あわせて口頭試問では、自己の所説の説明に加えて批評・批判・異論に耳を傾けこれに柔軟に対応できる能力も評価される。 【プログラムのOP】 1年次には、心理学分野全般を概観する概論的な科目を学ぶ。2年次には、心理学研究の基本的考え方や基礎技術を習得するための実験を中心とした科目や心理統計法に関する講義科目を学ぶ。3年次には、さらに高度な実験研究法や調査法を修得するための科目を学び、さらに、自分の関心に基づいて実験や調査を行いレポートにまとめる科目を履修する。4年次には、自分の研究を「卒業論文」にまとめる。これらに加え、2～4年次には、心理学領域の基礎知識や最新トピックなどを各講義および演習を通して学ぶ。</p>	<p><b>プログラムの学習成果</b>(◎=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)</p> <p>人や動物の心理的現象について、科学的理解を深めることができる。 実験や調査を通して、人や動物の行動を客観的・社会的に理解することができる。 数量的な測定法を学ぶことで、人間や動物の行動を客観的に理解する基礎を身につける。 自ら課題を設定し先行研究を整理した上でデータを集め、それらを考察して総合することができる。 外国語で書かれた海外の先行研究を講読し、理解を深める。 実験や調査によるデータ収集と分析、考察した結果を、客観的に記述し口頭や文書で発表報告することができる。 心理学の基本概念を理解し、基礎的知識を習得するとともに、大学院等での専門的・社会的な研究・実践への知的基盤を培う。</p>
---	---

プログラムのカリキュラム									
番 号	科 目 名	履 修 の 学 生	学 年	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4		
41084	学習心理学演習B	学習心理学における各論的な文献の講読を通じて、学習理論に関する理解と英語論文を講読する能力を身につける。	2-4					◎	○
41085	比較心理学演習A	比較心理学の基本的文献の講読を通じて、基本的現象の理解と英語論文を講読する能力を身につける。	2-4					◎	○
41086	比較心理学演習B	比較心理学のテーマ別の文献講読を通じて、基本的現象の理解と英語論文を講読する能力を身につける。	2-4					◎	○
41087	行動分析学演習A	行動分析学の概論的な文献の講読を通じて、基本的現象の理解と英語論文を講読する能力を身につける。	2-4					◎	○
41088	行動分析学演習B	行動分析学の各論的な文献の講読を通じて、基本的現象の理解と英語論文を講読する能力を身につける。	2-4					◎	○
41089	知覚心理学演習A	知覚認識に関する諸現象とその特徴、その研究方法について学ぶ。	2-4					◎	○
41090	知覚心理学演習B	知覚認識に関する諸現象とその特徴、その研究方法について学ぶ。	2-4					◎	○
41091	神経心理学演習A	種々な認知機能や心理行動過程の脳神経基盤およびそれらの障害について学ぶ。	2-4					◎	○
41092	神経心理学演習B	種々な認知機能や心理行動過程の脳神経基盤およびそれらの障害について学ぶ。	2-4					◎	○
41093	基礎心理学演習A	心理的基礎過程に関する文献講読を通じて専門的知識を習得し、心理過程の理解を深める。	2-4					◎	○
41094	基礎心理学演習B	心理的基礎過程に関する文献講読を通じて専門的知識を習得し、心理過程の理解を深める。	2-4					◎	○
41095	応用心理学演習A	応用的分野の心理学の基礎的文献の講読およびデータの考察を通じて、この分野のトピックスについての基本的な理解をめざす。	2-4					◎	○
41096	応用心理学演習B	応用的分野の心理学の基礎的文献の講読およびデータの考察を通じて、この分野のトピックスについての基本的な理解をめざす。	2-4					◎	○
41097	人格心理学演習A	人格心理学の基礎的文献の講読およびデータの考察を通じて、この分野のトピックスについての基本的な理解をめざす。	2-4					◎	○
41098	人格心理学演習B	人格心理学の基礎的文献の講読およびデータの考察を通じて、この分野のトピックスについての基本的な理解をめざす。	2-4					◎	○
41099	青年心理学演習A	青年心理学に関する文献講読を通じて専門的知識を習得し、研究全般への理解を深める。	2-4					◎	○
42601	青年心理学演習B	青年心理学に関する文献・資料を通じて研究法、データの分析・解釈の知識や技術を習得し、研究全般への理解を深める。	2-4					◎	○
42602	臨床心理学演習A	臨床心理学に関する英語文献の読解を通じて、この分野に関する専門的知識が修得できるようにする。	2-4					◎	○
42603	臨床心理学演習B	臨床心理学に関する英語文献の読解を通じて、この分野に関する専門的知識が修得できるようにする。	2-4					◎	○
42604	健康心理学演習A	健康心理学に関する英語文献の読解を通じて、この分野に関する専門的知識が修得できるようにする。	2-4					◎	○
42605	健康心理学演習B	健康心理学に関する英語文献の読解を通じて、この分野に関する専門的知識が修得できるようにする。	2-4					◎	○
42606	認知行動療法演習A	認知行動療法に関する英語文献の読解を通じて、この分野に関する専門的知識が修得できるようにする。	2-4					◎	○

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
プログラム名	心理学プログラム

<p><b>学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)</b></p> <p>KUGSI(金沢大学グローバルスタンダード)をふまえ、人文学類では次に挙げるすぐれた能力と資質を以て新たな情報や価値を創造し社会に貢献できる学生に学士(文学)の学位を授与する。</p> <p>1.豊かな教養と課題発見能力 人間性と社会性に富む豊かな教養を有し、常に知的好奇心を持ち続け、人間や社会、環境をめぐる諸課題を自ら発見することができる。(≒KUGS1.5に対応)</p> <p>2.社会的応用性を備えた専門性 各プログラムにおける専門的な学問内容と、文献読解にとどまらない固有の方法を、系統立てて理解・習得し説明できるとともに、それを活用して現代社会における多様な課題の具体的な解決に忍耐強く意欲的に取り組んでいくことができる。(≒KUGS1.2.5に対応)</p> <p>3.適切かつ主体的な情報収集と的確な自己表現の能力 多様な情報、文脈、資料、史料の中から必要なものを適切かつ主体的に収集、分析、統合し、自らの見解や価値観を形成するとともに、明晰な論理構成能力を高い文章表現力で自己を説得的かつ的確に表現することができる。(≒KUGS3に対応)</p> <p>4.多面的視野による他者理解と柔軟なコミュニケーション能力 多面的視野を持って、異なる文化や伝統も含んだ他者の多様な価値観や見解に対する高い関心と深い理解を有しており、日本語そして外国語を用いて異論を有する他者とも柔軟かつ適切に意思の疎通を図ることができる。(≒KUGS4に対応)</p>	<p><b>プログラムのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)</b></p> <p>心理学プログラムでは、人間の行動・認知・思考・思想・歴史・文化・言語について考究する人文学類の成果を学び、専門とする心理学プログラムの専門知識を有し、さらには人文学類の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような心理学プログラムの学習成果を上げた者とする。</p>
--	---

<p><b>学類・プログラムのOP/カリキュラム編成方針</b></p> <p><b>【学類のOP】</b> DPにかける能力と資質の育成を実現するために、以下のような教育課程の編成と実施の方針を策定する。 1. 学士課程4年間を通じて、KUGSIに対応したGS科目や導入科目を体系的に履修し、学士課程教育の基礎となる幅広い豊かな教養を身につける。またGS言語科目(英語)のみならず、必ず初習言語をひとつ以上選択することで、外国語コミュニケーション能力、異文化への関心と理解力を養う。(≒DP1) 2. 1年次より「人間社会学域GS科目」及び「人文学基礎科目」を履修し、前者では大学・学際論、ジェンダー論、文化概説、文学概説、異文化理解、法政基礎論、地域創生学、金融リテラシー等、人文学、社会科学の基本的問題や方法論を、後者では人文学類の基本研究内容、研究方法、そして基礎知識をそれぞれ幅広く学び、人間社会学域および人文学類での専門教育における基礎的教養を身につける。(≒DP1.2) 3. 英語については、1年次でのGS言語科目の履修を踏まえてさらに2年次で学域GS言語科目、また、各プログラムの専門科目における英語演習を履修することで、継続的に英語運用能力の向上を図る。(≒DP4) 4. 専門科目は、講義科目と演習・実習・実験科目に大別されるが、いずれのプログラムの講義・演習等でも、個人あるいはグループ単位での口頭発表、報告書(レポート)作成、討論、調査など学生の能動的・主体的な授業参加を求めるとともに双方向的な授業を進めることで、専門的知識の獲得に加えて、自己表現、他者理解、コミュニケーション等の能力を養っている。(≒DP3.4) 5. 4年次には全プログラムにおいて卒業論文演習を通じて卒業論文を作成する。卒業論文は、共通教育と専門教育の集大成となるもので、1年次から4年次まで習得してきた基礎的教養と専門教育における学修成果を総合しながら、学生自らが課題やテーマを設定し、データ・資料・史料等を収集、分析、読解し、自らの見解を明確かつ論理的に表現していく能力の養成ができたかどうかを最終的に確認するものである。あわせて口頭試問では、自己の所説の説明に加えて批評・批判・異論に耳を傾けこれに柔軟に対応できる能力も評価される。 <b>【プログラムのOP】</b> 1年次には、心理学分野全般を概観する概論的な科目を学ぶ。2年次には、心理学研究の基本的考え方や基礎技術を習得するための実験を中心とした科目や心理統計法に関する講義科目を学ぶ。3年次には、さらに高度な実験研究法や調査法を修得するための科目を学び、さらに、自分の関心に基づいて実験や調査を行いレポートにまとめる科目を履修する。4年次には、自分の研究を「卒業論文」にまとめる。これらに加え、2～4年次には、心理学領域の基礎知識や最新トピックなどを各講義および演習を通して学ぶ。</p>	<p><b>プログラムの学習成果</b>(◎=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)</p> <p>人や動物の心理的現象について、科学的理解をすることができる。</p> <p>実験や調査を通して、人や動物の行動を客観的・社会的に理解することができる。</p> <p>数量的な測定法を学ぶことで、人間や動物の行動を客観的に理解する基礎を身につける。</p> <p>自ら課題を設定し先行研究を整理した上でデータを収集し、それらを考察して総合することができる。</p> <p>外国語で書かれた海外の先行研究を講読し、理解を深める。</p> <p>実験や調査によるデータ収集と分析、考察した結果を、客観的に記述し口頭や文書で発表報告することができる。</p> <p>心理学の基本概念を理解し、基礎的知識を習得するとともに、大学院等での専門的研究、社会における専門的職業への知的基盤を培う。</p> <p>学問的分野の知識の基盤に触れ、事象に対する多様な考え方を知るとともに、人文学に関する複眼的な見方を涵養する。</p>
--	---

<p><b>プログラムのカリキュラム</b></p>									
教科書目録	科目名	履修の学	学	Q	Q	Q	Q	Q	Q
		習の学	年	1	2	3	4	5	6
		生							

教科書目録	科目名	履修の学	学	Q	Q	Q	Q	Q	Q
		習の学	年	1	2	3	4	5	6
		生							
42607	認知行動療法演習B	認知行動療法に関する英語文脈の読解を通して、この分野に関する専門的知識が修得できるようにする。	2-4					◎	
31005	卒業論文演習A	・研究計画、研究の遂行、成果の取りまとめという一連の過程を実践的に学ぶ。 ・学術論文の形式を理解する。	4	*					◎
31006	卒業論文演習B	・研究計画、研究の遂行、成果の取りまとめという一連の過程を実践的に学ぶ。 ・専門分野における研究課題の設定の仕方、先行研究の調査・読解の適切な方法を身につける。	4		*			◎	
31007	卒業論文演習C	・研究計画、研究の遂行、成果の取りまとめという一連の過程を実践的に学ぶ。 ・具体的な研究課題と研究計画を設定し、これを遂行するために調査・資料収集・文献読解を行い、関連する技法、考え方を身につける。	4			*		◎	
31008	卒業論文演習D	・研究計画、研究の遂行、成果の取りまとめという一連の過程を実践的に学ぶ。 ・調査・資料収集・文献読解を通して得られた情報を総合的に考察し、研究成果を的確に報告できるようにする。	4				*	◎	
31003	卒業論文	・学術論文の習作と位置づけられる論文執筆すること、自らの研究成果を公表する技法を学ぶ。 ・人文学的学問において要求される論理性や科学性の質、水準を理解し、それを果たすために必要な論述の条件について知る。						◎	
11057	人文学序説A	・人文学類における学問の方法を学ぶとともに、主履修分野・特別プログラムで学ぶ内容の概要を把握する。 ・ラボラトリ(実験)、サーベイ(調査と分析)という方法の基礎的な知識を理解する。	1	*		(*)			◎
11058	人文学序説B	・人文学類における学問の方法を学ぶとともに、主履修分野・特別プログラムで学ぶ内容の概要を把握する。 ・フィールドワーク(野外実習・調査)という方法の基礎的な知識を理解する。	1		*	(*)			◎
11059	人文学序説C	・人文学類における学問の方法を学ぶとともに、主履修分野・特別プログラムで学ぶ内容の概要を把握する。 ・哲学・歴史学分野における具体的な研究実践やテキスト(文庫)の扱い方について基礎的な知識を理解する。	1	(*)		*			◎
11060	人文学序説D	・人文学類における学問の方法を学ぶとともに、主履修分野・特別プログラムで学ぶ内容の概要を把握する。 ・言語や文学に関するテキスト(文庫)の扱い方について基礎的な知識を理解する。	1			(*)	*		◎
11063	現代社会・人間学入門	・グローバル化のプロセスがもつ意味を理解する。 ・グローバル化の影響を理解する。 ・人文社会科学の諸分野の学問的方法や固有の領域について理解する。	1~4		*				◎
11064	哲学の起源	・西洋哲学・倫理学の起源を歴史的に学び、その特質を理解する。	1~4				(*)		◎
11065	社会情報学A	・人間行動や社会集団の変化を、社会情報という視点によって把握する方法を学ぶ。 ・具体的な社会変動のプロセスやメカニズムを分析的に考察する。	1~4	*					◎
11066	社会情報学B	・人間行動や社会集団の変化を、社会情報という視点によって把握する方法を理解する。 ・具体的な社会変動のプロセスやメカニズムを多面的に考察できるようにする。	1~4		*				◎
11067	ジェンダーと社会A	・現代社会におけるジェンダー概念の意義と関連する諸課題について学ぶ。 ・ジェンダーの視点から諸課題の構造や課題解決のアプローチについて考察できるようにする。	1~4			*			◎
11068	ジェンダーと社会B	・多様な性と関連する諸課題について学ぶ。 ・ダイバーシティとインクルージョン(社会的包摂)の視点から分析・課題解決の方法について理解する。	1~4				*		◎

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
プログラム名	心理学プログラム

<p><b>学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)</b></p> <p>KUGSI(金沢大学グローバルスタンダード)をふまえ、人文学類では次に挙げるすぐれた能力と資質を以て新たな情報や価値を創造し社会に貢献できる学生に学士(文学)の学位を授与する。</p> <p>1. 豊かな教養と課題発見能力 人間性と社会性に富む豊かな教養を有し、常に知的好奇心を持ち続け、人間や社会、環境をめぐる諸課題を自ら発見することができる。(≒KUGSI.5に対応)</p> <p>2. 社会的応用性を備えた専門性 各プログラムにおける専門的な学問内容と、文献読解にとどまらない固有の方法を、系統立てて理解・習得し説明できるとともに、それを活用して現代社会における多様な課題の具体的な解決に忍耐強く意欲的に取り組んでいくことができる。(≒KUGSI.2.5に対応)</p> <p>3. 適切かつ主体的な情報収集と的確な自己表現の能力 多様な情報、文献、資料、史料の中から必要なものを適切かつ主体的に収集、分析、統合し、自らの見解や価値観を形成するとともに、明晰な論理構成能力を高い文章表現力で自己を説得的かつ的確に表現することができる。(≒KUGSI3に対応)</p> <p>4. 多面的視野による他者理解と柔軟なコミュニケーション能力 多面的視野を持って、異なる文化や伝統も含んだ他者の多様な価値観や見解に対する高い関心と深い理解を有しており、日本語そして外国語を用いて異論を有する他者とも柔軟かつ適切に意思の疎通を図ることができる。(≒KUGSI4に対応)</p>	<p><b>プログラムのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)</b></p> <p>心理学プログラムでは、人間の行動・認知・思考・思想・歴史・文化・言語について考究する人文科学の成果を学び、専門とする心理学プログラムの専門知識を有し、さらには人文科学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような心理学プログラムの学習成果を上げた者とする。</p>
--	---

<p><b>学類・プログラムのOP/カリキュラム編成方針</b></p> <p><b>【学類のOP】</b> DPIにかける能力と資質の育成を実現するために、以下のような教育課程の編成と実施の方針を策定する。 1. 学士課程4年間を通じて、KUGSIに対応したGS科目や導入科目を体系的に履修し、学士課程教育の基盤となる幅広い豊かな教養を身につける。またGS言語科目(英語)のみならず、必ず初級言語をひとつ以上選択することで、外国語コミュニケーション能力、異文化への関心と理解力を養う。(≒DPI1) 2. 1年次より人間社会学域GS科目「J」人文科学基礎科目「J」を履修し、前者では大学・学際論、ジェンダー論、文化概説、文学概論、異文化理解、法政基礎論、地域創生論、金融リテラシー等、人文科学、社会科学の基本的問題や方法を、後者では人文科学の基礎研究内容、研究方法、そして基礎知識をそれぞれ幅広く学習し、人間社会学域および人文学類での専門教育における基礎的教養を身につける。(≒DPI2) 3. 英語については、1年次でのGS言語科目の履修を踏まえさらに2年次で学域GS言語科目、また、各プログラムの専門科目における英語演習を履修することで、継続的に英語運用能力の向上を図る。(≒DPI4) 4. 専門科目は、講義系科目と演習・実習系科目に大別されるが、いずれのプログラムの講義・演習等でも、個人あるいはグループ単位での口頭発表、報告書(レポート)作成、討論、調査など学生の能動的・主体的な授業参加を求めるとともに双方向的な授業を進めることで、専門知識の獲得に加えて、自己表現、他者理解、コミュニケーション等の能力を養っている。(≒DPI4) 5. 4年次には全プログラムにおいて卒業論文演習を通じて卒業論文を作成する。卒業論文は、共通教育と専門教育の集大成となるもので、1年次から4年次まで習得してきた基礎的教養と専門教育における学習成果を総合しながら、学生自らが課題やテーマを設定し、データ・資料・史料等を収集、分析、読解し、自己の見解を明確かつ論理的に表現していく能力の養成ができたかどうかを最終的に確認するものである。あわせて口頭試問では、自己の所説の説明に加えて批評・批判・異論に耳を傾けこれに柔軟に対応できる能力も評価される。 <b>【プログラムのOP】</b> 1年次には、心理学分野全般を概観する概論的な科目を学ぶ。2年次には、心理学研究の基本的考え方や基礎技術を習得するための実験を中心とした科目や心理統計法に関する講義科目を学ぶ。3年次には、さらに高度な実験研究法や調査法を修得するための科目を学び、さらに、自分の関心に基づいて実験や調査を行いレポートにまとめる科目を履修する。4年次には、自分の研究を「卒業論文」にまとめる。これらに加え、2～4年次には、心理学諸領域の基礎知識や最新トピックなどを各講義および演習を通して学ぶ。</p>	<p><b>プログラムの学習成果</b>(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)</p> <p>人や動物の心理的現象について、科学的理解をすることができる。</p> <p>実験や調査を通して、人や動物の行動を客観的・社会的に理解することができる。</p> <p>数量的測定法を学ぶことで、人間や動物の行動を客観的に理解する基礎を身につける。</p> <p>自ら課題を設定し先行研究を整理した上でデータを収集し、それらを考察して総合することができる。</p> <p>外国語で書かれた海外の先行研究を講読し、理解を深める。</p> <p>実験や調査によるデータ収集と分析、考察した結果を、客観的に記述し口頭や文書で発表報告することができる。</p> <p>心理学の基本概念を理解し、基礎的知識を習得するとともに、大学院等での専門的研究、社会における専門的職業への知的基盤を培う。</p> <p>学問諸分野の知の集積に触れ、事象に対する多様な考え方を知るとともに、人文学に関する複眼的な見方を涵養する。</p>
---	--

プログラムのカリキュラム									
書目 科目	科目 名目	履修の学 習の学 生	学 年	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4		
42621	知覚・認知心理学A	感覚知覚に関する諸現象や基礎知識を学び、その仕組みと心理過程における役割を理解する。	2-4						◎
42622	知覚・認知心理学B	認知に関する諸現象や基礎知識を学び、認知過程と心理過程の特性を理解する。	2-4						◎
42623	学習・言語心理学A	学習心理学の基本的な現象、研究方法、および説明理論について基礎知識を習得し、現象面に応用できるようにする。	2-4						◎
42624	学習・言語心理学B	学習心理学の複雑な現象と説明理論について理解するとともに、言語心理学の基本的な現象、研究方法、および言語障害について基礎知識を習得する。	2-4						◎
42625	感情・人格心理学A	人格心理学に関する理論や実証的な研究が理解できるようにする。	2-4						◎
42626	感情・人格心理学B	感情心理学に関する理論や実証的な研究が理解できるようにする。	2-4						◎
41475	古代文明論	世界各地の古代文明の成立・発展・衰退の過程について、考古資料、建築資料、図像資料、文字資料などを駆使して研究する方法を学ぶ。	2年		*				○
11069	北陸の考古学	北陸地方の主要な史跡について学び、考古学的に北陸地方の歴史を復元できるようにする。	2年		*				○
11070	宗教芸術論	おもに、キリスト教・仏教の芸術について、それぞれの基本的な知識と、両者の差異、それを生み出す文化的・社会的背景に関する知識を修得する。	2年		*				○
11071	イメージを読み解く	人間がこれまでに生み出したさまざまなイメージを手がかりに、人間の持つ普遍性や、地域や時代に応じた固有の文化のあり方を修得する。	2年	*					○
11072	グローバルヒストリー	一國史の枠を超え、グローバルな視点で歴史を考察する方法を学ぶ。	2	*					○
11078	歴史学と現在1	戦後日本(敗戦直後から高度経済成長期まで)の歴史学を学ぶことを通じて、歴史学が存在意義を理解する。	1						○
11079	歴史学と現在2	戦後日本(高度経済成長期以降)の歴史学を学ぶことを通じて、歴史学が存在意義を理解する。	1						○
41975	日本語学講義1	・日本語の言語構造について、個別の問題の探求を通して、その基本的特徴を理解する。 ・言語の現象についての基本的な理解を身に付ける。	2,3,4	(*)	(*)	*	(*)		
11073	日本の物語と語り物	・日本文学史を貫流する問題や時代が広がりの中でジャンルを横断して看取される共通点を取り上げて論議・追求することができ	2,3,4	(*)	(*)	*	(*)		○
11074	日本文学の近代	・近代文学と社会の関係に注意を払って、論理的読解ができる。言葉の細部にまで注意を払って、注釈的読解ができる。日本近代の問題について知見を深めることができる。	2,3,4	*	(*)	(*)	(*)		○
11075	日本文学とメディア	・近代文学と社会の関係に注意を払って、論理的読解ができる。言葉の細部にまで注意を払って、注釈的読解ができる。社会の問題について知見を深めることができる。	2,3,4			*			○
11076	中国の言語文化A	中国の言語と文化について理解を深め、中国研究の方法論を習得する。	2			*			○
11077	中国の言語文化B	中国の言語と文化について理解を深め、中国研究の方法論を習得する。	2				*		○
21401	言語研究入門	語学研究に取り組むための基礎的知識と基本的な方法論を習得する。	2~4	*					○
21402	文学研究入門	文学研究に取り組むための基礎的知識と基本的な方法論を習得する。	2~4		*				○
21416	比較文学入門	比較文学研究に取り組むための基礎的知識と基本的な方法論を習得する。	2~4			*			○
21417	言語認知科学入門	・認知科学における言語の位置付けを理解する。 ・認知科学を学ぶ上で基礎となる心理学の知識を学ぶ。	2~4			*			○